

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第2048号 2010年12月27日(月)

《 a little bit weaker dollar 》

年末で商いが薄い中、ややドルが弱い年末の展開です。何回も84円台を試しながらそこを上に抜けられなかったことが続いただけに、前回の号で書いたとおりの「ややドルの上値が重くなる」と思っていたのですが、考えた通りの展開でした。年末年始は、全般に商いが薄い状態が続くが故に、今後2週間くらいはドルが弱い展開になる可能性がある。しかし、海外諸国の金利が大幅に上昇する中で来年の円は基調としては弱い展開、つまり円安方向だと考えています。

それにしてもこの週末に驚いたのは、中国の利上げでしょうか。発表そのものではない。インフレの状況を見れば当然だが、「それにしても時間を選ばない発表だな」と思いました。なぜなら今では金利の上げ下げは先進国では中央銀行の金融政策決定会合の後、具体的には平日の午後に発表になる。しかし中国の金融政策の変更は平日ではなく週末だったりまったく発表する日時が予測できない。「大きな特徴だな」と思いました。

むしろ中国は「政治の国」ですから、その発表時間にも意味合いがあるのでしょうか。しかし一般的には「土曜日発表の利上げ」となれば、緊急性を感じる。11月の中国の消費者物価の上昇が5.1%にも達したことは記憶に新しいし、庶民が暮らしていく上に重要な食料品の価格の上げ幅は10%を超していた。緊急性は確かにある。上げた結果の中国の基準となる預金金利は2.75%、貸出金利は5.81%。あくまで基準であって、実際にはそこから乖離したいろいろな金利があるに違いない。確か中国では都市と地方の金利が微妙に違った。しかし非常に分かりやすい利鞘だ。

中国がリーマンショックを受けて金利の下げに動き出す直前の貸出金利は7%を超えていた。そういう意味では今の5.81%というのはまだまだ来年上げ余地がある。物価の上昇に歯止めをかけようとするなら、人民元を切り上げるのが一つの手だが中国はそれをやらない。競争力の弱い農業や各種の産業に打撃になるから、と。雇用を心配している。しかしニンニクなど生活必需品の値上がりが続くと、本当に今度は庶民の不満が貯まる。「生活できない」「こんな生活がしたくて、共産党に政権を委ねているわけではない」と。だからいずれにせよ中国の経済政策は今後も綱渡りです。来年も中国経済の動向は世界の市場にとって大きな材料となるでしょう。

年末年始の先を見通すと、2011年もいろいろなことがありそうな年になりそうです。

日本の政治的混乱は続きそうで、最低限内閣改造があり、管政権の交代もありうるし、もしかしたら“大連立”ということになるかもしれない。もしかしたら早々に総選挙の可能性もある。今朝の日経にも調査結果が出ていますが、今の民主党の内紛を好意的に見ている国民は少ない。あそこから何かが生まれてくるかは分からない。そういう意味では、日本の政治の混迷は続く。

世界経済も「two way speed」な性格は少なくとも年の前半は変わらないでしょう。しかし中国の相次ぐ利上げに見るように、途上国の成長スピード調整も必要な来年は必要な年になり、その一方で先進国の成長ペースが若干上がる可能性もある。こうした中で、途上国にばかり向かってきた世界の流動性が日本を含む先進国に戻ってくる可能性も高いと思っています。先週末当たりから「日本の来年は株高か」といった記事が増えているのは、その一つの結果です。

来年はQE2後のFOMCの政策の先行き、欧州の財政危機の展開などが注目されるし、2012年の米大統領選挙、中国の政権交代も予想される中で世界の政治の動きも激しくなる。このニュースでは、こうした点に引き続き注目していきたい。

年末年始の主な予定は以下の通り。

- | | |
|-----------|---|
| 12月27日（月） | 11月企業向けサービス価格指数
11月住宅着工
11月建設受注
休場（クリスマス振替）／英国・カナダ・南アフリカ・豪州・香港 |
| 12月28日（火） | 11月全国／12月都区部消費者物価
11月労働力調査
11月家計調査
11月鉱工業生産（速報）
11月商業販売統計
米10月S&Pケースシラー住宅総合指数
米12月コンファレンスボード消費者信頼感指数
休場（ボクシング・デー）／英国、ベルギー・カナダ・豪州 |
| 12月30日（木） | 大納会
米12月シカゴ購買部協会景気指数
台湾中銀金融政策決定会合 |
| 12月31日（金） | 休場／東京・スイス・ドイツ・イタリア・スペイン・タイ・インドネシア・ブラジル・韓国・インドネシア・タイ
シンガポール・ |

2011年1月1日（土）	エストニアユーロ導入 ハンガリーがEU議長国就任 中国が一部のレアアース関税引き上げ
1月3日（月）	米12月ISM製造業景況指数 米11月建設支出 休場／東京・英国・カナダ（株式のみ）・豪州・ロシア・タイ・ベトナム
1月4日（火）	大発会 米11月製造業受注 米12月国内自動車販売台数 休場／ロシア
1月5日（水）	12月新車販売台数 米12月ADP雇用統計 米12月ISM非製造業景況指数 休場／ロシア
1月6日（木）	ユーロ圏11月小売売上高 休場／ロシア
1月7日（金）	米12月雇用統計 休場／ロシア

《 HAVA A NICE NEW YEAR 》

今年最後の週末でしたが、いかがお過ごしでしたか。えらく寒くなって、ヨーロッパも寒波が襲っているようで、地球全体が寒くなっている印象がする。もっともこれは偏西風に乗って流れる寒波の帯域が変わったからだという説もあるのですが、気象はいつも不思議です。

いよいよ今日を入れてあと5日の2010年ですが、皆様にはどんな年だったでしょうか。良かったことも悪かったこともあったし、「まあまあかな」と思っている人も多いでしょう。しかし一方で、「この現状はどうにかならないか」と憤慨している人も多いと思う。あきれた事件も多かった。なんと言っても気分が明るくなり鮮烈な記憶を残したのは「はやぶさ」でした。あの綺麗なエンディングは最近になくワクワクするものでしたし、そこに至る過程も幾多の困難を乗り越えての達成と言うことで実に痛快でした。

今年はこの号で最後とします。皆様には良い年末年始をお過ごしください。

《当「ニュース」は住信基礎研究所首席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報

源から入手したのですが、正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》